

障害のある人と災害 体験型講座

災害が起きたら**誰もが被災者**。

障害のある人の普段の困難を、もしかしたら誰もが被災時に体験することになるかもしれません。

障害体験を通して災害を考える、**ユニークな**企画です。

第1部 障害を知ろう、体験しよう（一部要予約）



第一部は、障害者団体の皆さんがそれぞれの困難を面白く伝えるために考えた、災害時にも通じる体験型ワークショップ。

知的障害の人はどんなことに困っている？

車いすに乗ってみる、押してみる。

見えないってどういうこと？

聞こえない人にどうやって伝える？

難しいことは考えなくても大丈夫。まずは体験してみませんか？

第2部 福祉避難所を研究しよう（宿泊体験/要予約）



第二部は、被災時の避難所体験。

福祉避難所研究も兼ねて、障害のある人ない人、みんな一緒に泊まってしまおうという無謀な企画。

なかなか過酷です。どんな困難が待っているのか？

昨年に引き続き、取り組みます。

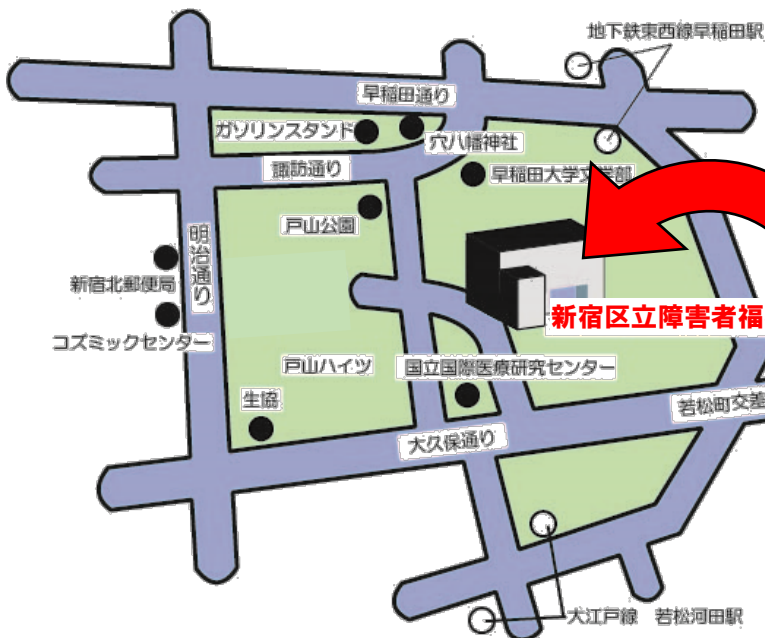
※第2部の参加は**要予約**、**参加要件があります**のでお問い合わせください。



日時：3月11日（土）午後1時～

場所：新宿区立障害者福祉センター

詳しくは裏面をご確認ください。



会場は
こちら！

障害のある人と災害
体験講座

入場無料

第1部 知的障害・自閉症の疑似体験

知的障害者・自閉症の困り感を体験しよう！

時間 午後1時～午後2時30分まで

色々な体験をしていただくので

事前予約が必要です。

こちらのご予約は

担当 新宿区手をつなぐ親の会 内藤

電話 090-3876-6723

FAX 03-3351-8051

第2部 福祉避難所研究

時間 午後5時～翌9時まで

参加ご希望（途中退出の見学者含む）

の方は、**事前予約が必要です。**

※条件を満たさない方はお受けできないことがあります。

参加対象者

本テーマに興味のある一般の方。学生。

障害のある方。障害者福祉関係者。

医療関係者。

※自己責任でのご参加をお願いします。本体験を通じて生じた体調不良、トラブル等について一切の責任は負いかねます。

あくまで「宿泊開放する」ものとお考えください。ごく簡単なお手伝いはできますが、スタッフは運営にあたっており介助員の配置はありません。介助が必要な方は慣れている介助者をご自身でお連れ下さい。

その他お守りいただく点があります。詳細はお問い合わせください。

続・第一部、福祉避難所研究のお問合せは

新宿区戸山1-22-2

社会福祉法人新宿区障害者福祉協会

新宿区立障害者福祉センター

受付窓口 9:00～17:00

電話 03-3232-3711

FAX 03-3232-3344

Mail ssk@pluto.plala.or.jp

続・第1部 各障害体験講座

時間 午後2時40分～午後5時まで

予約不要 参加自由です。

参加対象者

どなたでも！

1コーナー約20分。続・第1部からの参加、途中退出OK。ぜひぜひ体験してみてください。

学びががたくさん！

○身体障害（肢体不自由）

車いす乗車体験

災害時の車いすの扱いを体験できます。

○視覚障害

がれきのなかを歩く、

目の不自由な人の感覚を体験できます。

○聴覚障害

ジェスチャーで耳の不自由な人に伝えて

みよう！

このほかにもコーナーあります。